【小学校·中学校·義務教育学校用】

令和6年度学校評価 計画

- **達成度 (評価)**A: 十分達成できている
 B: おおむね達成できている
 C: やや不十分である
 D: 不十分である

学校名

鹿島市立能古見小学校

評価結果の概要

1 学力向上 基幹調査から分析した児童が身に付けている分野、不十分な分野を再度確認し、次年度につなげ、高めていく方法を模索する必要がある。2 人権教育 心の教育は学力向上と常にセットにあると考える。児童の育った心を大切にして、それを自信につなげられるよう、対策をとっていく必要がある。3 コミュニティスクールとして、地域との連携を強化し、地域の物的・人的財産の発掘を行い、体験活動の活性化につなげる。

2 学校教育目標

「かしこく、正しく、たくましく」共に伸びゆく能古見っ子の育成

3 本年度の重点目標

能古見つ子の「学力向上」と「人権意識の向上」

重点取組内容・成果	指煙				5 最終評価					
					中間評価					
共通評価項目 重点取組				中間評価		最終評価				主な担当者
評価項目	取組内容	成果指標	具体的取組	進捗度	進捗状況と見通し	達成度	実施結果	評価	意見や提言	
計画項目		(数値目標) 〇学力向上対策評価シートに示した成	研修の時間を定期的に設け 取り組み	(評価)	進汐仏がこ兄週し	(評価)	关旭和木	a十1Ш	息兄 で従言	
●学力の向上	い授業の実践	果指標を達成した教師90%以上	の 表通理解を図り、全職員で共通実践 に取り組む。 家庭学習への確実な取り組みへの強化 を図る。							
	○算数科を中心とした学力の向上	答した児童90%以上	・教師の問いかけを整理し分析していくことで、 児童の問いが連続するようにしていく。 ・アタックタイムでのAARサイクルが循環するように、学習過程のつながりを意識した授業展開を心掛ける。							
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する 心、他者への思いやりや社会性、倫理 観や正義感、感動する心など、豊かな 心を身に付ける教育活動	○学級及び個人の「自分のよいところが 言える」と回答した児童を80%とする。	・平和子音や人権乗取寺の美地をする。 ・道徳科の授業充実を図り、人権意識の向上につなげる。 ・保護者や地域と連携したふるさと体験活動を実施する。 ・感謝の気持ちを伝える取り組みを行う。 (著中見舞いはがきなど)		•	•			•	
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	〇いじめアンケート等で困っているとき に相談できる相手がいると答えた児童8 〇%以上とする。	- 心のアンケートの実施をする。(年6回) - 学校生活(いじめ)アンケートの実施をする。(年2回) - (ローリアンケートの実施をする。(年2回) - アンケートをもたに個別の教育相談を実施する。 - 教育相談週間の実施をする。 (ロ・リアンケートの後に行う。)		•					
		●「先生はあなたのよいところを認めて くれていると思う」と回答した児童生徒8 0%以上								
	〇志を立て、自ら目標に向かって努力 する子供の育成	●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上			•	•			•	
●健康・体つくり	次の中から1つ以上を選択 ●「運動習慣の改善や定着化」 @「望ましい生活習慣の形成」 ・「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	間が1週間で420分以上の児童60%以上 ●「早寝・早起き・朝ごはん」を心がけて いる児童80%以上	・昼休みは全校児童が外遊びをするように、遊び道具を充実させたり、放送で呼びかけたりする。(年間を通して)・健康に関する情報を「保健だより」で伝え、日々の健康チェックや歯みがきを要励することで、基本的健康活動の習慣化を図る。・好き嫌いをせず3食食べるなど、栄養教諭との授業や食育月間・給食週間を通して、食の大切さを呼びかける。		•	•			•	
	○体育学習・スポーツチャレンジの充実	〇「体育の授業において、指導技術が 向上した」教職員が80%以上	・外部講師を招聘し、ともに授業に取り 組むことで学習の充実を図る。 ・全学級がスポーツチャレンジに取り組 み、記録を校内掲示するなど、児童の 意欲を高める工夫をする。							
●業務改善·教職員の働き 方改革の推進	時間の削減	間、年間360時間を超えない)	・放課後時間の工夫と改善・職員間の情報の共有化・定時退勤日の徹底と退勤時間の申告制の導入		•	•			•	
	OICTを活用した業務の効率化	OICTを活用して業務の改善を行っていると回答した職員75%以上	の共有化を図りながら、ICTを駆使しながら、業務の改善を行う。		•					
特別支援教育の充実	○「個に応じたきめ細やかな指導」「交 流学習の充実」	〇合理的配慮ができ、特別支援教育に関する専門性が向上したと答えた職員が90%以上とする。	外部講師を招聘しての特別支援教育に関する研修会を実施 ・巡回相談を必要に応じて行い、実態に合った指導が できるようにする。 ・職員連絡会や職員研修で定期的に児童の共通理解 を図り、チームでの支援体制を構築していく。							
年度重点的に取り組む	独自評価項目									
重点取組		日什州和如		中間評価	最終評価 学校関係者評価		主な担当者			
評価項目	重点取組内容	成果指標 (數值目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
)地域との連携	○地域人材を活用した取り組みの充実	〇「学校は、保護者や地域の方と協力し て子どもの指導や行事開催に取り組ん			•	.21,=2			·	

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望